



認知症、いまが辛いと「輝いていた時」に戻る

[あとで読む](#)

【尊厳ある介護（35）】相手の見ている世界に寄り添えと

公開日：2018/03/18 (ソサエティ)

里村 佳子 (社会福祉法人呉ハレルヤ会呉
ベタニアホーム統括施設長)

夜勤明けで帰ろうとした若い介護スタッフを呼び止めて「退室の挨拶がありませんよ」と施設の利用者野山ひとみさん（仮名78歳）は注意をしました。



cc0 by Igor Ovsyannykov

若い介護スタッフは「申し訳ありませんでした。お先に失礼します」と頭を下げ、施設を後にしました。

施設に入居する前の野山さんは一人暮らしでした。ある時職場の人が自宅を訪ねたところ、几帳面できれい好きだった野山さんの部屋が足の踏み場もないほど散らかっていたそうです。

それで、職場の人は異変に気付きました。認知症という言葉が脳裏に浮かんだそうですが「腰痛のためお部屋の掃除ができなかった」と、とりつくろわれたのでそれ以上踏み込むことはしなかったそうです。

ところが、その後も今までやっていた事務作業ができないことや書類を何度も紛失することが続きました。認知症の早期発見は難しいのにも関わらず、職場の人は機転を利かし本人を説得して一緒に受診をしました。そこでアルツハイマー型認知症と診断され施設入所となったのです。

野山さんは長年女子寮の寮監をされていたせいも、施設入所をしてから施設は女子寮で若い介護スタッフは女子学生だと思われていました。それで、介護スタッフの挨拶や言葉使いが間違っていると諭すように注意をされます。内容も適切ですか

ら介護スタッフはそれをきちんと受け止めていました。

野山さんは結婚をされなかったので子供がおらず孤独な境遇でした。しかし、寮監をしていた時の教え子の人たちが施設に訪ねて来られるので、淋しさを感じている様子は見受けられませんでした。教え子の訪問の度に嬉しそうに話をされるのですが、名前と顔が一致しているのかどうか定かではありませんでしたが。

教え子の皆さんは口々に「野山先生にはお世話になった。よろしくお願ひします」と挨拶をされて帰られました。

認知症の中核症状の一つに見当識障害があります。自分の置かれている時や場所や人を正しく認識できなくなることです。私の接した多くの見当識障害のある人は、自分の人生の中で一番輝いていた時に戻っておられました。

どうして見当識障害のある人は、隆盛だった時代に戻るのでしょうか。考えられることの一つに、今の辛い現状からの逃避があります。

野山さんも、分からないことばかりになった自分、できていた事ができなくなった自分、誰からも必要とされなくなった自分に耐え切れず、寮監の時代に戻ったのではないのでしょうか。

介護スタッフは、野山さんに「ここは施設で、私たちは学生ではありません」などと言って否定せず、野山さんの世界を理解しようとして寄り添いました。その結果、介護スタッフとの信頼は深まり現実に戻ってくる時間が多くなりました。

現実に戻るためには、自分の居場所が必要です。そこで、野山さんに花の水替えや歌の指導をお願いしました。役割があることでここに居ても良いのだと安心してもらうためです。

時間をかけて野山さんは現実を生きるようになったのですが、病気に罹り寝て過ごす時間が多くなりました。辛いことはいろいろあったのではないかと察しますが、愚痴を言わず微笑みを絶やすことはありませんでした。

野山さんは最後の時をどのように生きれば良いか、私たちにお手本を示して静か

に天に召されました。見送ったのは、教え子の人たちでした。

葬儀の時、教え子の一人が「野山先生は施設で過ごしていた時が一番幸せだったと思います。あんな穏やかな表情をした野山先生を見たことがありませんでしたから」とぼつりと言われました。

その含蓄のある言葉を、私は何かにつけて思い出し反芻するのです。

(注)事例は個人が特定されないよう倫理的配慮をしています。

<この連載は原則として水曜日に掲載します>

続報リクエスト

マイリストに追加

以下の記事がお勧めです

- > [里村 佳子のバックナンバー](#)
- > [内閣支持率が大幅下落 共同調査では38.7%、毎日では33%](#)
- > [「タニタ健康プログラムを輸出したい」](#)
- > [定番の「子供用」図鑑に満足できない子供たち](#)
- > [今週の4本 国務長官の解任をどう読むか、トランプ政権は現状否定派へシフト](#)

プロフィール

最近の投稿



里村 佳子(社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム統括施設長)

法政大学大学院イノベーションマネジメント(MBA)卒業、広島国際大学臨床教授、前法政大学大学院客員教授、広島県認知症介護指導者、広島県精神医療審査会委員、呉市介護認定審査会委員。ケアハウス、デイサービス、サービス付高齢者住宅、小規模多機能ホーム、グループホーム、居宅介護事業所などの複数施設の担当理事。2017年10月に東京都杉並区の荻窪で訪問看護ステーション「ユアネーム」を開設。

News Socraは、記者30年、新聞協会賞受賞の元日経新聞の土屋直也が編集長をしています。ネットで本当のジャーナリズムを盛り上げたいと思い、ベテランライターによる独自記事とセレクト記事を掲載しています。

トップへ

アプリでもご覧になれます



いいね! 0

シェア 0

ツイート



[この記事編集](#)

[ソクラとは](#)

[FAQ](#)

[編集長プロフィール](#)

[利用規約](#)

[利用案内](#)

[プライバシーポリシー](#)

[著作権について](#)

[特定商取引法に基づく表示](#)

[メーカーソクラ](#)

[お問い合わせ](#)

[お知らせ一覧](#)

[コラムニストプロフィール](#)

Copyright © News Socra, Ltd. All rights reserved